

日本一の寒がりとは秋田県民、寒さに強いトップは岩手県民。気象情報会社「ウェザーニューズ」（東京）は、身に着けた衣服や防寒具の数から、都道府県別に「寒がり度」を比較した調査結果をまとめた。

調査は昨年12月、全国47都道府県に住む同社登録会員を対象に携帯電話サイトで実施し、6767人が回答。

着用している服の枚数やマフラー、手袋、耳当てなど防寒具の数を報告してもらい、「氷点下10・0度以下」から「プラ

## 「寒がり日本一」は秋田

### 北海道4位 気象情報会社調査

#### 「全国寒がり度」ランキング

1位	秋田県
2位	山梨県
3位	山形県
4位	北海道
5位	宮城県
⋮	⋮
43位	長崎県
44位	徳島県
45位	沖縄県
46位	和歌山県
47位	岩手県

(ウェザーニューズ調査)

ス10・1度〜15・0度」の5段階に分けた調査日朝の気温との相関性を分析。都道府県別の着用数の平均値を算出し、全国平均と比較した。

一方、着用点数が最も少なかったのは岩手県。

全国平均より0・94点少なく、和歌山県（マイナ

着用数トップは秋田県で、全国平均よりも1・16点多かった。次いで山梨県（プラス1・09点）、山形県（同1・06点）、北海道（同0・56点）と

なっており、同社は「寒さに慣れていると思われる北国で寒がりの人が多い」としている。

全国平均より0・94点少なく、和歌山県（マイナ

ス0・74点）、沖縄県（同0・67点）を抑え「最も寒さに強い県」との結果が出た。